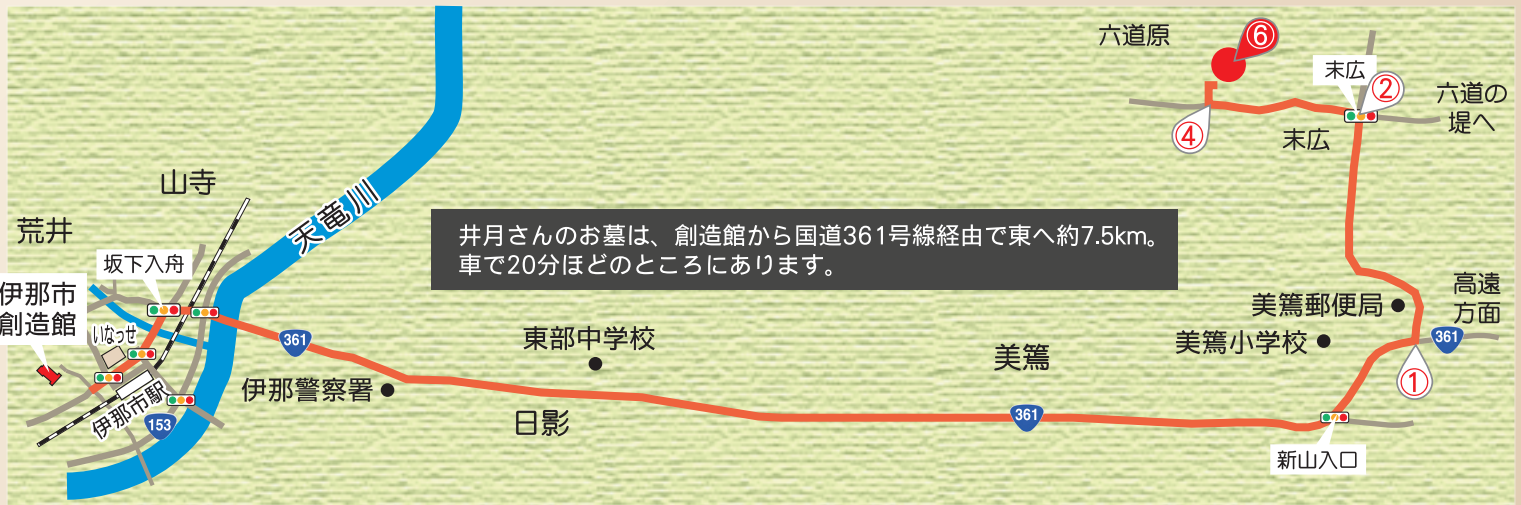


# 展示室を見てから行ってみよう!

創造館を飛び出して、関連する地を訪ねる第一弾。今回は美篤六道原にある、井月さんのお墓に行ってみましょう。

## その① 井月さんのお墓



井月さんのお墓は、創造館から国道361号線経由で東へ約7.5km。車で20分ほどのところにあります。



①伊那市街から高遠線(R361)で高遠方面へ向かいます。坂下入舟の信号から約5kmのところにある美篤(みすず)郵便局の看板で左折。



②道なりに進んではじめの信号(末広)を左折。(右折すると1.6km先が六道の堤へ。ここに井月の句碑があります。)



③さらに進むと右手側に見える木の茂った一角が墓地です。



④曲がり口にある「井上井月の墓」の看板を右折します。(狭い道ですので大型バスなどは通行できません)



こういう看板です。奥まっているので見落とさないように気をつけてください。



⑤杉の木の後ろに井月の墓があります。さあ、お墓したしくお酒をそそぎに行きましょう。



⑥美篤六道原にある墓地の大きな木の根っこに、三峰川から持ってきた丸く少し細長い自然石を置いています。それが井月さんの墓です。石の面には「降とまで人には見せて花曇」と刻まれていたのですが、今では消えて見えません。井月さんの亡くなった菜の花の咲く頃には、東に仙丈ヶ岳、西には駒ヶ岳が、雪をかぶったきれいな姿で望まれます。(「伊那の井月さん」平成28年伊那市教育委員会・井上井月顕彰会編著 より)

降るとまで人には見せて花曇、移りやすいこの頃の空模様、どうぞ花散らしの雨とならぬ様に。



伊那市創造館マスコットキャラクター

## 伊那市創造館 INA-CITY SOUZOU-KAN

〒396-0025 伊那市荒井 3520 番地  
Tel:0265-72-6220 Fax:0265-74-6829  
Mail:szk@inacity.jp

※ お車でお越しの方は、「いなっせ駐車場」をご利用の上、駐車券を創造館1階事務室までお持ちください。

創造館2階の「井月展示室」には、井月の死の2時間前に書かれたという絶筆句をはじめ、さまざまな真筆が展示されています。